

- 問1 『魏志』倭人伝などの中国の歴史書に記述が見られ、3世紀ごろに争乱が続いていた倭国を治めるため、邪馬台国の女王として共立された人物は誰か。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 推古天皇 | 2. 神功皇后 | 3. 持統天皇 | 4. 卑弥呼 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問2 紀元1世紀、倭の奴国の王が大陸へ使節を送り、後漢の皇帝から授けられたとされる金印について、その事実が記述されている中国の歴史書として正しいものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|-------------|------------|
| 1. 「宋書」倭国伝 | 2. 「隋書」倭国伝 | 3. 「後漢書」東夷伝 | 4. 「魏志」倭人伝 |
|------------|------------|-------------|------------|
- 問3 3世紀頃の日本（倭）の様子について記された中国の歴史書『魏志』倭人伝には、「長年、国々が争い合って混乱していたため、人々は一人の女子を王に立てた」という趣旨の記述があります。このとき、邪馬台国の女王として擁立された人物は誰ですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|--------|
| 1. 持統天皇 | 2. 孝元 | 3. 推古天皇 | 4. 卑弥呼 |
|---------|-------|---------|--------|
- 問4 弥生時代の文化を象徴する遺物である「銅鐸」について、その使用目的や出土傾向を正しく説明しているものはどれか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 最新の農耕技術を伝えるための道具として、兵庫県や島根県などの沿岸部のみで限定的に使用された。 | 2. 豊作を祈るための祭りの道具として用いられ、滋賀県や和歌山県を含む近畿地方で多くの出土が確認されている。 | 3. 縄文時代から続く伝統的な風習において、死者を埋葬する際に手足に装着する装身具として使われた。 | 4. 実際の戦いや狩猟で使用するための実戦的な武器として、東日本を中心に広く普及した。 |
|---|--|---|---|
- 問5 福岡県の志賀島で発見された金印には、正方形の印面に「漢委奴国王」の五文字が刻まれており、つまみの部分は蛇を模した形状（蛇鈕）となっています。この金印を奴国の王が後漢の皇帝から授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 大陸から仏教を公式に導入するための許可を得て、国内の宗教的な統一を図ろうとしたため | 2. モンゴル民族の侵攻に対抗するため、大陸の軍隊に日本列島までの援軍を要請したため | 3. 中国の皇帝から地位を認められることで、自らの権威を高めて周辺の勢力を抑えようとしたため | 4. 卑弥呼が「親魏倭王」の称号を得るための事前交渉として、大陸との友好関係を築くため |
|--|--|--|---|
- 問6 倭の奴国の王が、中国の後漢から金印を授かった紀元1世紀（西暦57年）ごろの世界情勢について、ヨーロッパや地中海周辺の動きを説明したものとして正しいものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 1. アレクサンドロス大王が東方遠征を行い、ヘレニズム文化が広がっていた | 2. 地中海を囲む広大な地域を統一したローマ帝国が成立していた | 3. 西ローマ帝国が滅亡し、ゲルマン人の大移動が本格化していた | 4. ギリシャ人が地中海沿岸の各地にポリス（都市国家）を建設し始めた |
|--------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
- 問7 弥生時代に製作された青銅器のうち、釣鐘のような形をしており、表面には当時の生活の様子や動物の文様が刻まれている「銅鐸（どうたく）」は、主にどのような目的で用いられたと考えられていますか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|---|---|--|
| 1. 作物の豊かな実りを祈るなどの祭りの道具として用いられた | 2. 衣服を織るための繊維を整えたり、糸を紡いだりするための機織り用の道具として用いられた | 3. 収穫した穀物を煮炊きしたり、保存したりするための調理器具として用いられた | 4. 集落間の戦いにおいて、敵を攻撃したり威嚇したりする武器として用いられた |
|--------------------------------|---|---|--|
- 問8 1世紀半ば、奴国の王が中国の王朝（漢）に使者を送り、金印を授けられたという出来事について、その当時の国際関係のあり方や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 仏教を日本に広めるため、優れた経典や仏像を日本へ持ち帰る許可を皇帝に求める使節を派遣した | 2. 対等な立場での外交を求める国書を送り、大陸の進んだ律令制度を日本へ速やかに導入することを目的とした | 3. 朝鮮半島での軍事的な優位を確保するため、中国の王朝と軍事同盟を結び、援軍を派遣してもらう約束を取り付けた | 4. 中国の皇帝に朝貢してその支配下に入ることで、自身の王としての地位を認めさせ、国内での権威を高めようとした |
|---|--|---|---|
- 問9 島根県の荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡では、大量の銅剣や銅鐸が一箇所に埋められた状態で発見されている。これらの金属器が、当時の社会において果たしていた役割について説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 五穀豊穡などを祈るための祭礼用の道具として用いられた | 2. 大規模な森林を切り開くための伐採具として用いられた | 3. 米などの収穫量を正確に計測するための度量衡として用いられた | 4. 他の集落との戦争において、殺傷能力の高い武器として実戦で用いられた |
|-------------------------------|------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
- 問10 弥生時代の集落において、収穫した稲を保存するために造られた「高床倉庫」について、床を高く設計した主な目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 洪水による浸水を防ぐために、海岸沿いの低湿地に集落の全ての建物を配置する必要があったため。 | 2. 敵からの攻撃をいち早く発見するために、建物全体を物見櫓（ものみやぐら）として活用するため。 | 3. 床下の通気性を高めて湿気を防ぐとともに、ネズミなどの害虫が侵入するのを防ぐため。 | 4. 夏の暑さをしのぐために、地面に深い穴を掘って室内の温度を一定に保つため。 |
|--|--|---|---|
- 問11 歴史上の出来事を整理する際、100年単位の「世紀」という区分が用いられます。例えば、西暦300年という年は、何世紀の終わりの年にあたりますか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 4世紀 | 2. 2世紀 | 3. 30世紀 | 4. 3世紀 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問12 弥生時代に邪馬台国の卑弥呼が、中国の魏に使いを送った政治的な理由として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものを選択してください。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 日本列島に迫っていた魏の軍事的侵攻を回避するため、多額の貢ぎ物を持参して講和を結ぶため。 | 2. 「倭国大乱」と呼ばれる国内の激しい争いを鎮め、魏の皇帝から称号を得ることで国内における統治の正当性を示すため。 | 3. 鉄製農具の使用を全国に普及させるため、魏から大量の鉄資源を安価に輸入する独占的な貿易ルートを確認するため。 | 4. 律令国家の仕組みを学ぶために、魏の進んだ法制度や官僚機構を日本に導入して中央集権化を図るため。 |
|---|--|--|--|
- 問13 歴史上の生産活動の発展において、農具の素材が変化したことは大きな意味を持ちます。鉄製の刃先を用いた農具への変化について説明したものとして、正しい記述を選んでください。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--------------------------------------|
| 1. 鉄の刃先が導入された後も、土を耕す作業には一貫して木製のみの道具が使われ続けた | 2. 鉄は加工が困難であったため、刃先も含めてすべて石で代用する手法が普及した | 3. 鉄製の農具は重すぎて実用的ではなかったため、主に祭祀用の道具として使われた | 4. 木製の土台に鉄の刃先を組み合わせた工夫により、耕作の効率が向上した |
|--|---|--|--------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 卑弥呼	3世紀の邪馬台国において、呪術的な力を用いて国を治めたとされる女王です。中国の魏に使いを送り、「親魏倭王」の称号や金印、銅鏡などを授かりました。推古天皇は飛鳥時代の最初の女帝、持続天皇は飛鳥時代後半の女帝であり、時代が異なります。
問2	答え 3 「後漢書」東夷伝	紀元57年に倭の奴国の王が後漢の光武帝から金印を授かったという出来事は、中国の歴史書である『後漢書』東夷伝に記されています。3世紀の邪馬台国や卑弥呼について記された『魏志』倭人伝（『三国志』の一部）と混同しやすいため、時代背景と歴史書の対応を正確に理解しておく必要があります。
問3	答え 4 卑弥呼	弥生時代後期、倭（日本）では小国同士の激しい抗争が続いていました。この乱れを収めるために、約30の国々の連合体である邪馬台国の女王として立てられたのが卑弥呼です。彼女はまじないなどの宗教的な力を背景に政治を行い、混乱していた国内をまとめ上げました。
問4	答え 2 豊作を祈るための祭りの道具として用いられ、滋賀県や和歌山県を含む近畿地方で多くの出土が確認されている。	青銅器はもともと大陸では武器や工具として使われていたが、日本に伝わると祭祀用の道具（祭器）として大型化・薄肉化した。銅鐸はその代表例であり、出土数の統計においても兵庫県、島根県、徳島県に次いで、滋賀県や和歌山県といった近畿圏で多く見つかったことが特徴である。
問5	答え 3 中国の皇帝から地位を認められることで、自らの権威を高めて周辺の勢力を抑えようとしたため	当時の倭（日本）は多くの小国に分かれていました。奴国のような有力な国の王は、中国の皇帝に使節を送って「臣下」となる代わりに、王としての正当性を認めてもらう（冊封を受ける）ことで、国内や周辺諸国に対する権威を強化しようとした。仏教の伝来や卑弥呼の登場、モンゴルの侵攻はすべて後の時代の出来事です。
問6	答え 2 地中海を囲む広大な地域を統一したローマ帝国が成立していた	日本が後漢と交渉を持っていた紀元1世紀ごろ、ヨーロッパでは地中海全域を支配するローマ帝国が全盛期を迎えていました。この時期は中国の漢王朝とローマ帝国の間で、シルクロードを通じた間接的な交流が行われていた時代でもあります。ギリシャのポリス建設は紀元前8世紀ごろ、アレクサンドロス大王の遠征は紀元前4世紀ごろの出来事です。
問7	答え 1 作物の豊かな実りを祈るなどの祭りの道具として用いられた	銅鐸は、弥生時代を代表する青銅器の一つです。当初はつり下げて鳴らす楽器として使われていたと考えられていますが、次第に大型化し、豊作を祈るための祭礼や儀礼において重要な役割を果たす「祭祀具（さいしぐ）」として用いられるようになりました。表面に刻まれた鹿や農耕の様子などの文様は、当時の生活や信仰を知るための貴重な史料となっています。
問8	答え 4 中国の皇帝に朝貢してその支配下に入ること、自身の王としての地位を認めさせ、国内での権威を高めようとした	当時の日本（倭）は多くの小国に分かれて争っており、各国の王は、強大な力を持つ中国の皇帝に貢物を捧げる「朝貢」を行いました。それに対して皇帝がその土地の支配権を認める（冊封）ことで、王は自国内や周辺の国々に対して自分の正統性や優位性を誇示しようとした。1世紀の奴国の王による外交も、こうした背景によるものです。
問9	答え 1 五穀豊穰などを祈るための祭礼用の道具として用いられた	弥生時代の青銅器は、刃が薄く作られているものや、大型化して音が鳴らなくなったもの（銅鐸）があることから、武器や道具としての実用性は低かったと考えられています。これらは集落の共同体で共有され、五穀豊穰や魔除けを祈るための「祭祀の道具」として、神聖な儀式に用いられていました。
問10	答え 3 床下の通気性を高めて湿気を防ぐとともに、ネズミなどの害虫が侵入するのを防ぐため。	稲作が本格化した弥生時代には、収穫物を長期間保存する技術が不可欠となりました。高床倉庫は、床を高くすることで風通しを良くして湿気による稲の腐敗を防ぎ、さらに柱の上の部分に「ねずみ返し」と呼ばれる板を取り付けることで、食料を食い荒らすネズミの侵入を防ぐ工夫が施されていました。
問11	答え 4 3世紀	世紀の計算は西暦1年を起点として100年ごとに区切るため、各世紀の終わりの年は必ず100の倍数になります。1世紀は1年～100年、2世紀は101年～200年となるため、201年から始まった3世紀は、300年をもってその区切りを迎えることになります。301年からは4世紀に入ります。
問12	答え 2 「倭国大乱」と呼ばれる国内の激しい争いを鎮め、魏の皇帝から称号を得ることで国内における統治の正当性を示すため。	2世紀後半の日本は「倭国大乱」と呼ばれる激しい内乱状態にありました。これを収めるために共立されたのが女王卑弥呼です。彼女が魏に使いを送った主な目的は、中国という当時の東アジアの超大国から「親魏倭王」という称号を授かることで、国内の他の勢力に対し、自分が正当な支配者であることを誇示することにあります。授かった銅鏡などの宝物も、その権威を裏付ける道具として利用されました。なお、律令制度の導入は飛鳥時代以降の課題であり、この時期の目的ではありません。
問13	答え 4 木製の土台に鉄の刃先を組み合わせる工夫により、耕作の効率が向上した	古代の農具の改良に関する資料などでは、木製農具の先端部分を鉄で補強する記述が見られます。鉄は木材よりも硬く鋭いため、これを刃先として利用することで土地を効率よく耕し、生産性を高めることができました。こうした技術の進歩が、のちの国力の増大や社会構造の変化を支える基盤となりました。